

指導の手引き 12. スポーツ (2)

dodgeball	最初の do にアクセント。	ドッジボール
英語らしい音を出すコツ	最初のdo- は、「ダ」の口をしたまま「ド」と発音。語尾の l は、ほかの l で終わる語と同様、舌の先を上歯の裏にしっかり押しつけたまま、暗い「ウ」のような音になる。「ダジボーウ」のように聞こえる。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	dodge は「よける」の意味。	

football	foot にアクセント。	フットボール、サッカー
英語らしい音を出すコツ	最初の f は下唇に歯を当てて発音する。この語は foot と ball の合計 2 音節でできていることを意識して発音する。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	英国では、普通、サッカーを football と呼ぶが、オーストラリアやニュージーランドでは、たいていは、ラグビーのことを football と呼ぶ。アメリカとカナダでは football と言えばアメリカン・フットボールのこと。	

gymnastics	中間の -na- にアクセント。	体操
英語らしい音を出すコツ	gym-nast-ics の三音節語。-nast- の a 音は、bag や bat の a と同じ、「エ」と「ア」の中間の音。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	オリンピックなどの競技としての体操であり、ラジオ体操や体育授業での準備運動 (exercise) などを指すのではない。	

marathon	最初の ma- にアクセント。	マラソン
英語らしい音を出すコツ	ma-ra-thon の 3 音節から成る語。舌先がどこにも触れない r の発音にも注意。-thon は、舌先を両方の歯で挟んで発音する。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	英語では 42.195km を走る競技だけがマラソンである。日本の小学校のマラソン大会は、a long-distance run と呼ぶのが正しい。	

rugby	最初の rug- にアクセント	ラグビー
英語らしい音を出すコツ	最初の r は舌先が上の歯に触れない。コツとしては r の前に w があるつもりで「(ウ)ラグビ」と発音すると英語らしくなる。rug- の u は bus や cup と同様の軽い「ア」。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	ラグビーが盛んなニュージーランドやオーストラリアでは、football と言えばラグビーのことになる。	

sailing	最初の sail- にアクセント。	セーリング、ヨット
英語らしい音を出すコツ	「セー」ではなく「セイ」。後ろに -ing が付くときの l は「暗いウ」のような発音にしない。語尾の -ing は鼻に抜ける音。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	2000年のシドニーオリンピックから「セイリング」と呼ばれるようになった。現代の英語ではヨット (yacht) は、大型の豪華なものを指すことが一般的。	

soccer	最初の so- にアクセント。	サッカー
英語らしい音を出すコツ	語頭の o は「ア」の口をしたまま「オ」と発音。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	英国では football と呼ぶことが多い。	

surfing	最初の sur- にアクセント。	サーフィン
英語らしい音を出すコツ	あまり口を開かずに「サー」と「スー」の間の曖昧な音を出す。語尾の -ing は鼻に抜ける音。	
文法的な注意事項	競技名は数えないので、a を付けることはない。	
文化的な情報、応用表現など	ほかの -ing で終わるスポーツと同様、元は動詞である。play は使わず I surf every day in the summer. のように言う。	